

【総務係】

1 就学援助費

1,730万円

市内に居住し、経済的理由によって就学困難と認められる児童生徒の保護者に対して、市及び国の基準に基づき、学用品費、修学旅行費等を援助する制度です。



2 遠距離通学補助制度

324万円

市内に居住し、遠距離通学をする児童生徒に対して、市の基準に基づき、通学に係る経費の一部を補助する制度です。小学校の児童には定額が、中学校の生徒に対しては、自転車とヘルメット購入費等の一部が補助されます。



3 各種大会派遣事業

50万円

市内中学校生徒のスポーツ及び芸術文化活動の振興や各種大会（中学校体育連盟が主催する九州大会以上の大会や吹奏楽部連盟が主催する吹奏楽コンクールの九州大会以上の大会等）に出場する生徒の費用を負担軽減する制度です。



4 高校振興費

1,562万円

曾於高校の在学生等及び曾於高校に対し、総合的な支援を行うことにより、保護者負担の軽減及び教育活動等を充実・活性化させることを目的とする制度です。

- ① 曾於市中学校スクールバス活用事業
- ② 制服等購入費補助事業
- ③ 遠距離通学費補助事業
- ④ 資格取得費補助事業
- ⑤ 通信講座受講料補助事業
- ⑥ 教科指導支援事業
- ⑦ 笑顔輝き夢かなう事業



【学校管理係】

1 学校管理費

3億8,854万円

市内の小学校17校及び中学校3校の学校施設の維持管理等に伴う経費です。

学校施設の維持に必要な光熱水費に加え、消防用設備や電気工作物の保安管理などの管理業務の費用も含まれます。

安全確保のための施設修繕や樹木剪定・高木伐採も行います。



2 教育振興費

5, 219万円

教育振興のために児童生徒が授業で使用する教材備品や図書を整備します。

GIGA スクール構想の実現に向けた ICT 機器（学校パソコン・タブレット・電子黒板）を計画的に整備しています。



3 末吉小学校改築事業

7億7, 194万円

校舎が老朽化している末吉小学校の改築に向けて、策定した計画を基に事業を進めます。

令和7年度計画

- ・実施設計
- ・造成工事
- ・校舎建設工事開始



【学校給食係】

1 学校給食

1億7, 912万円

市内20校の児童・生徒に、栄養バランスにすぐれた安心・安全な給食を提供するとともに、食を通じて好ましい人間関係の育成を図り、日常生活における望ましい食習慣や態度を身につけるため学校給食を通じた食育推進を図ることを目的としています。また、曾於市学校給食センターの運営・施設の維持管理を行います。



2 学校給食助成事業（完全給食無償化）

1億3, 183万円

保護者の学校給食費の負担軽減を図ることにより子育て支援を拡充し、子どもが健やかに成長できる社会を実現することを目的に「学校給食費負担軽減補助金」を交付しています。令和6年度より完全無償化を実施しています。また、曾於市産の食材を購入することを目的として食材購入補助を行います。



1 そおっ子の学力向上プラン

904 万円

児童生徒の学力を正確に把握し、実態に応じた効果的な指導法を研究するために、各種学力検査の実施や研究公開の補助を行っています。また、児童生徒の学習意欲を高めるために、英検検定料の補助を行います。

2 学校 ICT 活用支援・人材育成事業

516 万円

曾於市内の小・中学生に配布している 1 人 1 台の端末や ICT 機器の活用力を高めるために ICT 支援員を派遣します。各学校における学習・技術支援、教材作成・提供、研究公開や校内研修の支援、市教育委員会主催の ICT 研究会などを行います。

また、市内や市外の学校とのリモート授業のサポートや、小中学校で必修化された「プログラミング教育」を含めた、学校における ICT 教育の推進のための業務を行います。

他校とのリモートによる授業



3 特別支援教育支援員配置事業

6,584 万円



通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒をはじめ、児童生徒の実態に応じた特別支援教育支援を行うために、特別支援教育支援員を配置します。

要支援の児童生徒に寄り添い、日常生活の介助、健康・安全の確保、学習活動上の支援などを行うことで、学力の向上や共感する心、自律する力を育て、きめ細かい支援の充実を図ります。

4 A L T 語学指導事業

2,355 万円

現在、小学校 5・6 年生で外国語科、小学校 3・4 年生で外国語活動が実施されています。その授業と中学校での授業をより充実させるため、本年度は、外国語指導員 1 名、A L T（外国語指導助手）2 名と英語支援員 3 名を配置します。

これにより国際理解教育を活性化させ、国際親善や相互理解を深めさせることにより「国際性豊かな人材の育成」を図ります。



5 スクールカウンセラー設置事業

131 万円

児童生徒や保護者が抱えるさまざまな課題について、解決のための助言や心のケアを行うスクールカウンセラーを配置します。

また、教師に対しても、児童生徒との関わりに関する悩み事について心理面でのアドバイスをしたり、研修会等を開催したりすることで、児童生徒の心に寄り添える教員としての資質向上を図り、不登校やいじめ、問題行動などの未然防止、早期発見・早期解決を目指します。

6 スクールソーシャルワーカー活用事業 近年、家庭や経済的な問題で、いじめや不登校など生徒指導上の課題を抱えていたり、安定した生活ができなかったりする児童生徒や家庭が増えつつあります。それらに対して、社会福祉的な観点から解決を図るために、社会福祉等の専門的な知識や技術を有するスクールソーシャルワーカー（SSW）を配置し、学校・福祉機関との連携を推進し、教育相談体制の整備・充実を図ります。	456万円  スクールソーシャルワーカー (SSW)の活動イメージ
7 教育支援センター指導員設置事業 心理的・情緒的な理由などから登校できない、又は不登校傾向がみられる児童生徒の学校復帰を目的に教育支援センター（ふれあい教室）を設置します。 教育支援センターでは、指導員を中心に、学校と連携して、基本的な生活習慣の改善や豊かな情操、社会性の育成等を行い、学校への早期復帰を図ります。 また、教育相談コーディネーターとして、スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーと繋いだり、相談員の紹介、保護者の電話相談にも対応しています。	820万円 
8 学校健診事業 市内小・中学校の児童生徒の健康増進を図り、健やかな育成を支えるため、内科検診や眼科検診、耳鼻科検診、歯科検診等の各種健康診断を実施します。 また、小・中学校職員に自己の体調管理や病気等の早期発見をしてもらうために、特定健診や胃がん検診、胸部レントゲン検診、ストレスチェック等を実施します。	2,183万円
9 曾於市教育センター運営事業 曾於市の教育施策の方向性を実現するため、各学校及び関係機関と連携し、教育に関する事項について、情報や資料の収集・調査研究を行い、推進及び普及に繋がります。 また、教職員の資質の向上・人材育成を図るため、講座や研修会等を実施します。 さらに、教育施策や児童生徒に関する様々な取り組みを連携させ、支援体制の強化・ICTの活用を図り、授業改善等を通じて、変わりゆく社会に対応しうる「豊かな学力」の向上を目指します。	338万円 曾於市教育センター 研究・実践発表会 

【社会教育係】

1 高齢者学級	22万円
高齢者にまつわる様々なテーマ（健康・介護福祉・交通安全・防犯・研修視察等）を学習するとともに、親睦を深めながら仲間づくりと生きがいを高めることを目的に開催します。 【主な講座内容】 ・健康、福祉、介護、防災・安全教育研修 ・ニュースポーツ、施設研修等の実施	
2 はたちの集い	86万円
未来を担う20歳の若者たちの門出を祝うとともに、家族や周りの方々への感謝の気持ちや郷土を愛する心を養い、社会人としての自覚を促すことを目的に式典を開催します。 （例年1月3日）	
3 放課後子ども教室	111万円
放課後に安心・安全な子どもの居場所を設け、地域の方々の参画を得て、子どもたちと共に勉強やスポーツ・文化活動・地域住民との交流活動等を実施します。	
4 地域学校協働活動事業	27万円
地域の高齢者、保護者、PTA、民間企業等の幅広い地域住民等の参画を得て、地域で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、学校を核とした地域づくりを目指して地域と学校が相互に連携・協働していく活動を行います。 【主な事業内容】 ・ボランティアによる学習支援等 ・子どもたちの地域行事への参加 ・推進員研修会の開催	
5 青少年リーダー研修事業	113万円
小中高生を対象に、日常の家庭や学校生活や地域活動で得ることのできない体験をさせることにより、広い視野をもち、心身ともにたくましく思いやりのある青少年の育成を目的として実施します。 【主な事業内容】 ・宿泊研修 ・産業体験、史跡巡り ・ボランティア活動	
6 青少年国内交流事業	142万円
小中高生を対象に、友好都市である山形県鶴岡市へ赴き、自然体験や史跡・文化施設等の参観や現地青少年との交流により、鶴岡市と曾於市の更なる交流推進を図るとともに、次世代を担う青少年の育成を目的として実施します。	
7 青少年国際交流事業	234万円
高校生を海外に派遣し、異言語・異文化・異習慣に触れながら識見を広め、国際社会に適応できる豊かな国際感覚を備えた青少年の育成を目的に実施します。 アメリカ・シアトルでホームステイをしながら地元高校に通学し、現地学生や世界各国の留学生と共に学習します。	
8 社会教育団体の育成及び運営補助	191万円
社会教育各種団体（子ども会・女性団体等）に補助金を交付し、活動を支援します。 【主な事業内容】 ・市子どもフェスタ ・少年の主張大会 ・市女性大会 ・青少年の健全育成事業 等	

9 校区・地区公民館活動補助	1, 274万円
校区・地区公民館の活性化を図り、明るく住みよい地域づくりを推進することを目的に運営補助金と「曾於元気だそお」ふるさと事業補助金を交付します。	
10 財部中央公民館改修工事	6億 9, 541 万円
令和8年4月の開館に向けて財部中央公民館を改修し、中央公民館と図書館の複合施設として整備します。	



青少年リーダー研修



子どもフェスタ



鶴岡市・曾於市友好都市間青少年交流事業



はたちの集い

【生涯学習係】

1 生涯学習の推進	
自らが学び、自己を高め、さらに学んだ成果を社会で活かす「生涯学習社会」を推進する経費です。市民の学習意欲に応えるため、関係機関と連携して専門的な講座や趣味的な講座を開設します。	
(1) 曾於市総合大学	780万円
令和7年度は教養学部、健康学部、芸術学部の3学部80講座を開設します。	
(2) 曾於市まちづくり行政情報出前講座	6万円
講座メニューの中から、市民の皆様のリクエストに応じて、市役所や行政機関等の担当職員が講師となって開設する講座です。	
【主な講座内容】 ・家庭・地域における防災講座 ・はじめよう終活 ・楽しいニュースポーツ	
	など27講座
(3) 生涯学習まちづくり推進事業	108万円
各校区地区公民館での生涯学習によるまちづくりを推進するため、生涯学習の観点に立った活性化事業を推進します。総合的な生涯学習推進大会やまちづくりを学ぶ講演会、健康や環境、芸術等に関する講座の開設など地区公民館などが自ら特色を活かして実施しています。	

2 文化施設の管理運営費

(1) 文化施設管理費

7,921万円

大隅文化会館、末吉総合センター、財部きらめきセンターの維持管理等に要する経費です。

(2) 文化振興事業費

3,691万円

曾於市の文化を振興する事業に関する経費です。主なものは末吉総合センター及び大隅文化会館、財部きらめきセンターで実施する自主文化事業に関する経費や全国公募で開催している吉井淳二記念大賞展の経費、曾於市文化協会の発展振興を支える経費です。

3 市立図書館及び市歴史民俗資料館管理運営費

曾於市立図書館、大隅分館及び財分館、市歴史民俗資料館の管理運営を充実し、市民の読書活動や学習活動を推進しています。

(1) 図書館指定管理事業

13,538万円

図書館の管理運営を指定管理者に委託し、市民の読書活動や学習活動を推進しています。

① 指定管理委託

図書館の管理運営を指定管理者に委託しています。

② 図書館充実事業

図書購入は、年間に約6,000冊前後の図書を購入します。蔵書数は本館・大隅分館・財部分館合わせて20万冊を超え、充実した図書館になっています。

③ 図書館大隅分館・財部分館開館準備

令和7年5月大隅分館、令和8年4月財部分館の開館を予定しています。

④ 移動図書館車巡回事業

2台の移動図書館車が、曾於市全域を対象に図書館が遠くても本の貸出や返却ができるサービスです。(市内42ステーション)今年度は、移動図書館車1台を購入予定です。

(2) 図書館ボランティアの育成

20万円

曾於市立図書館で読み聞かせなどの活動をしているボランティアグループを支援しています。

(3) はじめての絵本事業（ブックスタート事業）

60万円

絵本を楽しむ体験を通じ、子どもと保護者が一緒に心ふれあう時間を持つきっかけづくりとして、乳児と3歳児に絵本を贈呈します。



吉井淳二記念大賞展



まちづくり行政出前講座



ブックスタート事業

【文化財係】

1 文化財の保護・活用

(1) 文化財保護審議会の開催

25万円

文化財の保存や指定、活用の方策等について審議します。

(2) 文化財整備・保存管理・調査・看板設置

603万円

文化財の調査や草払い等の整備を行うとともに、文化財を分かりやすく説明する看板を計画的に設置します。また、歴史民俗資料館の展示内容の充実を図り、文化財資料を収蔵している旧岩川小学校等の施設管理を行います。

(3) 民俗芸能団体等補助事業

249万円

県指定文化財・市指定文化財等の保存会に活動の助成を行います。

(4) 市内文化財等パンフレット作成

49万円

指定文化財等を紹介するパンフレットを作成し、市民等への公開や活用を図ります。

(5) 市史編さん事業

122万円

令和12年（2030）の曾於市史刊行を目指して編さん事業を行います。今後は市民の皆様に、郷土に関する情報や資料等の提供をお願いしていきます。

2 埋蔵文化財の発掘調査と保護

(1) 埋蔵文化財センター管理費

136万円

埋蔵文化財発掘調査出土遺物の整理作業を行い、調査研究の成果や出土遺物を公開することにより、市民に郷土の歴史を伝え、文化遺産に対する理解を深めます。

(2) 市内遺跡群緊急発掘調査

132万円

開発行為に伴う緊急を要する埋蔵文化財の発掘調査を行い、記録し公表します。

(3) 市内遺跡群発掘調査整理作業及び報告書作成

737万円

市内遺跡群の発掘調査で出土した遺物の整理及び報告書を作成する費用です。今年度は、宮之迫遺跡（追補版2）の埋蔵文化財発掘調査報告書を刊行します。



令和7年3月28日、国重要無形民俗文化財『岩川の弥五郎人形行事』に指定された弥五郎どん祭り



宮之迫遺跡出土土器群（市指定文化財）

【生涯スポーツ係】

1 スポーツ活動の推進

(1) 社会体育行事の開催

218万円

- ①ニュースポーツ大会〔5月〕
⇒誰でも気軽に参加できるポッチャ等の競技を行う大会です。
- ②カヌー教室〔6～7月〕
⇒講師を派遣して各小学校のプールで行います。
- ③県民スポーツ大会曾於地区大会の後援〔7月〕
- ④カヌー大会〔7月〕
⇒カヌースプリント競技とドラゴンボート競争を行います。
- ⑤悠久の森ランニング大会〔10月〕
⇒財部の大川原峡キャンプ場周辺で行われるランニング大会です。市内外各地から多くのランナーの参加があります。
- ⑥末吉豊祭武道大会〔11月〕
⇒末吉総合体育館を中心に空手・柔道・剣道・弓道・四半的・ゲートボール競技が行われます。
- ⑦県下一周駅伝・女子駅伝大会の後援〔1・2月〕

(2) スポーツ推進委員会の運営

445万円

スポーツ推進委員会を開催し、社会体育行事の推進及び軽スポーツ・レクリエーション活動の普及・振興を図ります。

(3) 体育団体の育成や各大会の助成

855万円

- ・スポーツ協会運営補助・スポーツ少年団運営補助・県民スポーツ大会曾於地区大会出場補助
- ・全国大会等出場補助・豊祭武道大会運営補助・県スポーツ少年団交歓大会出場補助
- ・悠久の森ランニング大会運営補助



ニュースポーツ大会



カヌー大会

2 スポーツ活動の環境整備の推進	
(1) 学校施設開放事業	139万円
市内の小学校17校、中学校3校、計20校の学校体育施設を開放し、市内各地域のスポーツ振興を図ります。	
(2) 末吉地区運動施設管理費	3,710万円
末吉総合体育館、栄楽公園、弓道場などの維持管理のための費用です。ニュースポーツ用具の貸し出しも行っています。	
(3) 市民プール施設管理費	3,180万円
温水プールの維持管理のための費用です。水泳教室・ウォーキング等、誰でも気軽に利用出来る施設です。	
(4) 財部地区運動施設管理費	2,306万円
野球場・陸上競技場・体育館・城山公園の夜間照明施設・農業者トレーニングセンターの維持管理のための費用です。	
(5) 大隅地区運動施設管理費	4,125万円
体育館・武道館・陸上競技場・野球場・テニスコート等の維持管理のための費用です。	
(6) 新地公園グラウンド・ゴルフ場管理費	926万円
グラウンド・ゴルフ場の維持管理のための費用です。3コースあり、日本グラウンド・ゴルフ協会の公認コースがあります。	

[illegible]

曾於市民歌

作詞 橋本絹代

作曲 鎌田範政

力強く ♩ = 120 位



三

二

一

高千穂峰の 恵みうけ
聞こえる命 芽吹く音
大隅の地の ふるさとに
つないだ手から つくられる
輝くわれら ああ曾於市

弥五郎どんの 歩むまち
新緑深く 空青く
畜産の道 いっしんに
未来たくして すすみゆく
育むわれら ああ曾於市

人のぬくもり 優しさに
新たな歴史 刻むまち
老いも若きも 助け合い
いく末までも 健やかに
伸びゆくわれら ああ曾於市

曾於市民歌

作詞 橋本絹代
作曲 鎌田範政

令和7年4月発行

企画・編集 鹿児島県 曾於市役所 財政課 財政係

〒899-8692

鹿児島県曾於市末吉町二之方 1980 番地

TEL 0986-76-8803 (直通)

0986-76-1111 (代表)

FAX 0986-76-8821

e-mail zaisei@city.soo.lg.jp

URL <http://www.city.soo.kagoshima.jp>

財部地区



財部支所新庁舎



南九州畜産獣医学拠点
(SKLV)

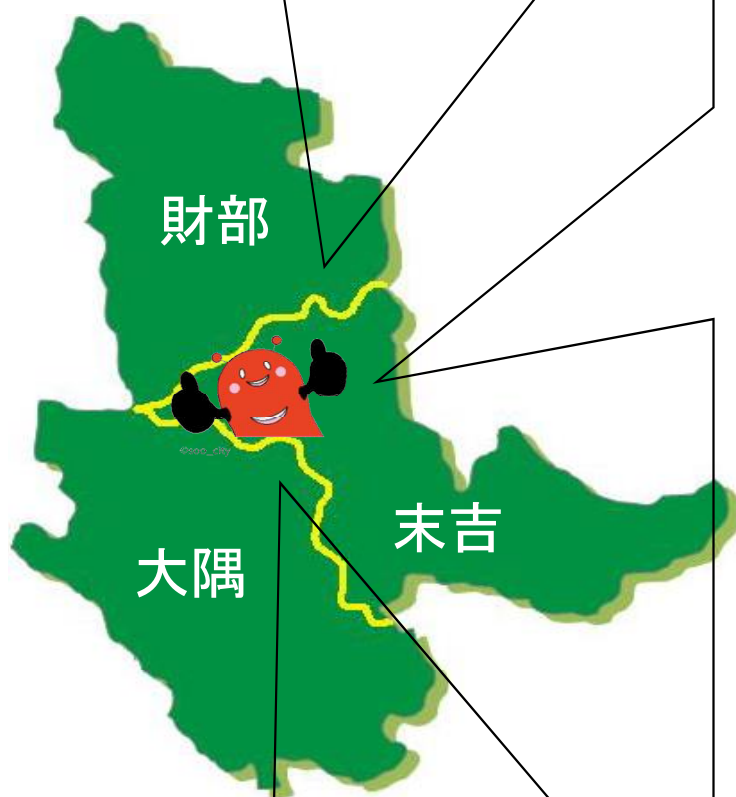
末吉地区



学校給食センター



ゆず搾汁センター



大隅地区



大隅支所新庁舎



地域振興住宅(中野4号棟)